

(旧大阪国際) 第10回
ARTE国際マンドリンフェスティバル
&
コンクール



Ricardo Sandoval
(ベネズエラ)



Claudio Mandonico
(イタリア)



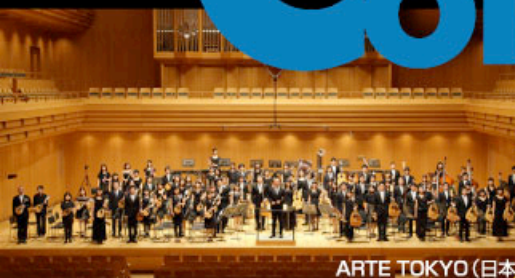
山田 岳(日本)



望月 豪(日本)



Steffen Trekel
(ドイツ)



ARTE TOKYO(日本)

ARTE International Mandolin Festival & Competition 2015

待望の東京開催!

10月10日(土)

12:40 開場
13:00 開会式
13:10- コンクールB部門(マンドリン四重奏部門) ファイナル
16:15- コンクールA部門(マンドリン独奏部門) セミファイナル
19:30- コンサートI 「クラウディオ・マンドニコの世界」
20:30 終演

コンクール

A部門: マンドリン独奏部門
B部門: マンドリン四重奏部門

審査員

石村 隆行(日本 マンドリン演奏家)
片岡 道子(日本 マンドリン演奏家)
北爪 道夫(日本 作曲家)
久保田 孝(日本 指揮者・作曲家)
Claudio Mandonico(イタリア 指揮者・作曲家)
Ricardo Sandoval(ベネズエラ マンドリン演奏家・作曲家)
Steffen Trekel(ドイツ マンドリン演奏家)

10月11日(日)

12:40 開場
13:00- コンクールA部門ファイナル
16:15- コンサートII 「望月豪マンドリンリサイタル」
17:30- コンサートIII 「世界のプレクトラムアート」
18:45 表彰式・講評
19:00 終演

HAKUJU HALL 庫

前売当日共、全席自由 一般4000円 学生2000円
(2日間通して有効の通し券のみ)
※客席には限りがありますので、売り切れの場合当日券の販売は
ございません。



HAKUJUホール(東京都) <http://www.hakujuhall.jp/>
代々木公園駅(千代田線) 出口1より徒歩5分
代々木八幡駅(小田急線) 南口より徒歩5分

コンサートI ● クラウドィオ・マンドニコの世界

——指揮：Claudio Mandonico 演奏：フェスティバルオーケストラ
イタリア在住の作曲家マンドニコ氏を指揮に迎え、日本を代表するプロ奏者を中心に結成されたフェスティバルオーケストラがその作品の魅力に迫ります。

スペイン組曲
チェチリアーナ〜マックスローチの主題による変奏曲
水の反映（同志社大学マンドリンクラブ100周年委嘱作品）
2声のインヴェンション-マンドリンとマンドラの為の 他

コンサートII ● 望月豪マンドリンリサイタル

——共演：山田 岳（ギター）
第5回大阪国際マンドリンコンクール独奏部門で第1位を獲得後、現代音楽コンクールの登竜門「競楽XI」において入賞。マンドリン現代音楽のスペシャリストとして独自の境地を切り開くその活動は近年内外から注目されています。

近藤 謙：早春に
田口 和行：Ice Trick
川上 統：Black Ghost 他

コンサートIII ● 世界のプレクトラムアート

——Ricardo Sandoval, Steffen Trekel, 山田 岳, ARTE TOKYO 他
審査員を務めるドイツマンドリン界のトップアーティスト、シュテフェン・トレッケルと、南米音楽のみならず幅広い活動で世界を駆け巡る巨匠、リカルド・サンドヴァル。更に日本を代表するギタリストで、現代音楽の次世代を担う山田岳。撥弦楽のスーパースターと古今の名曲による「世界のプレクトラムアート」をお楽しみください。

フンメル：マンドリン協奏曲ト長調 マンドリン/Steffen Trekel
桑原康雄：「機織る乙女」の主題による変奏曲
マンドリン/Steffen Trekel, 児嶋 絢子 ギター/槐 智明
北爪道夫：青い宇宙の庭3 - 独奏ギターとマンドリンオーケストラの為の協奏曲
ギター/山田 岳
サンドヴァル：PAISAJES-マンドリン独奏とマンドリンアンサンブルの為の協奏曲
マンドリン/Ricardo Sandoval
サンドヴァル：Madrid バンドーラ/Ricardo Sandoval 他

コンクール

A部門 マンドリン独奏部門

	
Jean Carlos Escalante Lara (ベネズエラ)	Veronika Schlereth (ドイツ)
	
Miriam Münzner (ドイツ)	間宮 匠 (日本)
	
平野 之謙 (日本)	山本 治加 (日本)

B部門 マンドリン四重奏部門


Quartet Amodo (日本)

マンドリン四重奏団「カルネ」(日本)

マンドリン四重奏団クアドリフォーリオ(日本)

Mandolin Quartet 崖 (日本)

マンドリン カルテット フェリス(日本)

インフォメーション

第4回全日本マンドリン合奏コンクール
2016年8月20日(土)
京都府長岡京記念文化会館
開催部門：A一般部門 B学生部門
課題曲：アモローソ 序曲「祖国への愛」
録音予備審査(課題曲のみ)
締切：2016年6月30日

●クラウドィオ・マンドニコ (指揮)

クラウドィオ・マンドニコは1957年生まれのアリタリアの作曲家・指揮者。サクソフォン、ピアノ、コントラバスを学び、1986年にロシア音楽院作曲科を卒業。
イタリアのマンドリン界のトップと言えるウーゴ・オルランディ氏との古くからの親交もあってマンドリン作品を多く残し、本邦ならずヨーロッパ各地における人気現代作曲家の一人としてその名を馳せている。古楽からジャズに至る幅広い演奏活動から繰り広げられる作風は彼独自のものといえる。
特に、オルランディ氏率いるマンドリン合奏団「チッカ・ディ・プレッシア」において長らく指揮者を務め、オルランディ氏との共同研究の末に発表した研究成果ともいえるCDの数々は極めて高い資料的価値を持つものである。2006年には大阪国際マンドリンフェスティバルに審査員および指揮者として来日。今回9年ぶりの来日となる。

●望月 豪 (マンドリン)

1980年、カナダのトロントにて生まれ、4歳でエレキギターを、14歳でマンドリンを始める。いくつかのマンドリンオーケストラのコンサートマスターを経験し、2003年にマンドリンオーケストラとしてリベルテを立ち上げ、現在まで代表・コンサートマスターを務めている。
マンドリン奏者としては、2009年第5回大阪国際マンドリンコンクール・マンドリン独奏部門での日本人として初の第1位、2014年現代音楽演奏コンクール「競楽XI」でマンドリン奏者として初のファイナル出場と聴衆賞受賞の他、複数のコンクールでの入賞経験を持つ。
慶應義塾大学在学時より指揮者も度々務め、2006年「MUSICA MANDOLINO 合奏コンクール東京」では、リベルテマンドリンオーケストラを指揮し第1位を受賞、また指揮者の故小松一彦氏により最優秀指揮者賞に選出される。
これまでにリサイタルを東京/大阪/パリにて開催、20を超える演奏会での協奏曲のソリストを務め、管弦楽での賛助出演等も果たす。現代音楽にも積極的に取り組み、作曲家への委嘱や作曲家からの演奏依頼など、50曲以上の新作初演をしている。
その他、作曲家 壺井一歩氏と「マンドリンのためのソネットシリーズ」を企画、ニューヨークのクラリネット奏者Thomas Piercy氏と「マンドリンとクラリネット」演奏会を企画するなど既存の概念に捉われない新たな活動に積極的に取り組んでいる。
CDは自身が指揮・独奏を兼務している「協奏曲集 四季」や「Tzigane 望月豪マンドリンリサイタル」等、独奏を担った協奏曲が含まれるものが5枚発売されている。片岡道子、越智敬、池谷淳子各氏に師事。

●山田 岳 (ギター)

ギターを長野野憲、徳武正和、佐藤紀雄、ダニエル・ゲーリッツの各氏に師事。エリザベト音楽大学、ベルリン「ハンス・アイスラー」音楽大学卒業。
現代音楽の分野で内外の作曲家と広く交遊し多くの独奏曲や室内楽、協奏曲などの初演に携わる。近年では楽器の枠を超えたパフォーマーとして2010年、自身の主宰するアンサンブル「Trio ku」名義でベルリン・Kreuzberg RecordsよりCDをリリース、ドイツの音楽誌「新音楽時報」にて絶賛された。その他国内外で多数の録音に参加。
サントリー音楽財団サマーフェスティバル、秋吉台の夏、ベルリン・ランドシュピール、Hakujuギターフェスタ、日韓コンピューターミュージック・フェスティバルなどの音楽祭に客演。
国内での活動のほか、これまでにドイツ、ベルギー、中国、マレーシア、シンガポール、ベトナムに招かれリサイタルや各地の大学でレクチャーを行った。
第41回クラシカルギターコンクール第1位、第38回イタリア・ガルニャーノ国際ギターコンクール最高位、ベルリン国際ギターコンクール2006第3位、第9回現代音楽演奏コンクール「競楽IX」第1位。
第20回朝日現代音楽賞を受賞。
桐朋学園芸術短期大学、福山平成大学非常勤講師。

●リカルド・サンドヴァル (マンドリン・バンドーラ)

ベネズエラ出身のマンドリニスト。クラシック演奏家かつ民俗音楽演奏家としての両活動を行う。祖国の伝統音楽であり、ベネズエラ音楽の中心的な楽器であるマンドリンとバンドーラを学び、カラカスの音楽大学において、Ivan AdlarとAngel Pineroのもとクラシックマンドリンの高等教育を受け、さらにドイツのケルン音楽大学でGertrud WeyhofenとMarga Wilden-Husgenに師事した。これまで、ヴァラツェ(1988年)やシュヴァインフルト(1999年)での国際コンクールで入賞している。
また、神戸(2000年)やスペインのラ・リオハ(2000年)、セゴルベ(2001年)、フランスのアジャクシオ(2003年)やルーネル(2004年)で開催された音楽祭に参加している。ソリストとしても、また、ベネズエラ音楽やラテンアメリカ音楽の著名アンサンブルのメンバーとしても、熟達したレコーディングアーティストである。現在、フランスとルクセンブルグで教鞭をとっており、コンサートのためにヨーロッパや南米に頻りに招待されている。

●シュテフェン・トレッケル (マンドリン)

現代を代表するマンドリニストの一人。1968年、ドイツのエッセンに生まれた。ケルン音楽大学でMarga Wilden-Husgenにマンドリンを師事し、数々の国内コンクールで優勝、さらに1994年シュヴァインフルト(ドイツ)での国際ソロマンドリンコンクールにおいて第3位を獲得した。ソロや室内楽団などの多くのコンサートツアーで世界中を飛び回り、多くの有名オーケストラとの共演も果たしている。
その活動は多彩であり、すべての時代の音楽をレパートリーとしているだけでなく、非常に幅広い種類の楽器を演奏する。現代ドイツマンドリンに加えバロックマンドリン、マンドラをも弾きこなす。1995年からハンブルグ音楽院においてマンドリンと演奏法の講師も務めている。